



大分県の代表的な産品の一つである「しいたけ」は、全国乾椎茸品評会において24大会連続で56回の団体優勝を果たすなど、全国でも高い評価を受けており、中でも豊後大野市は、県内有数の生産量を誇る一大産地となっています。

懇談では、人工ほだ場やハウスといった設備を積極的に導入し、徹底した水分管理を実施している状況や、冬場の寒さを利用し、ほだ木に撒いた水が凍結する刺激でしいたけの発生を操作する「凍結散水」の技法を確立するなど、長年にわたり高品質なしいたけを生産し、「おおいブランド」の維持・向上のために日々励んでいただいている状況をお聞きました。

一方、ほだ木となるクヌギが大きく育ちすぎて取り扱いに苦慮している現状や生産者の高齢化が進み、生産者数や生産量が減少傾向にあるなどの課題もお伺いしました。これらの課題解消には、新規参入者や若手生産者の育成が急務であり、そのためには販売価格や経営の安定が必須であることから、県としても後継者の育成や海外輸出による販路拡大などについて引き続き支援するようご要望がありました。

会員の多くが国から表彰を受けるなど、長年にわたり全国に誇れる高品質のしいたけを生産されていることに感謝を申し上げるとともに、県や市とも連携して、すばらしい技術を後継者に繋いでいくために引き続きご尽力いただきたいとお伝えしました。

## 対 話 風 景



## 関連する県の施策

## ☆事業名：農業次世代人材投資事業

事業概要：就農意欲の喚起と就農後の定着等を図るため、就農者に対し給付金を支給

・就農準備資金（国）150万円/年 最長2年間

・親元就農給付金（準備型）（県）150万円/年 1年間 など

【新】就農準備資金等を受給する子育て期間中の研修者に対し、給付金を上乗せ支給

・支給額 2.5万円/月 ※林業（しいたけ含む）、水産業の研修者にも別事業で給付金を支給

予 算 額：7億9,389万円

## ☆事業名：しいたけ増産体制整備総合対策事業

事業概要：しいたけ生産の合理化、省力化、低コスト化を図るため、生産基盤や生産施設の整備、原産地保証体制の整備に向けた取組を支援

【新】高齢級クヌギを活用したしいたけ原木栽培実証経費への助成

・補助率1/2、限度額180万円

【特】温暖化に対応した新品種の栽培実証

予 算 額：5,982万円

※ 【新】は令和6年度からの新規事業 【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おおい創造挑戦枠事業」